

2026 年度新入生合同研修 活動報告書



新入生合同研修委員会

目次

1. ごあいさつ	2
2. 2026 年度新入生合同研修のテーマ及び目的について	3
3. 開催概要	3
4. 研修当日スケジュール	4
5. 座席配置図	5
(1) グランキューブ大阪 3 階 イベントホール 座席配置図	5
(2) 3 階イベントホール 当日風景	6
6. 開会式（副学長からのメッセージ）	7
7. 卒業生・在学生からのメッセージ	7
8. チーム別討議	8
(1) チーム討議①	8
(2) チーム討議① 当日風景	9
(3) チーム討議②	10
(4) チーム討議② 当日風景	10
(5) チーム討議での新入生の様子について	11
9. 学生によるポスター掲示、成果物への投票について	11
(1) グループへの割り振りについて	11
(2) ポスターの掲示について	12
(3) 投票について	12
(4) 投票 当日風景	13
10. 講演・実技	14・15
11. 成果発表会	16
(1) 成果発表会	16
(2) 各グループで最も投票数が多かったチームの成果物	16
(3) 成果発表会 当日風景	17
12. 新入生合同研修委員会の活動について	18
(1) 準備・実施スケジュール	18
(2) 新入生合同研修委員会 開催状況	19
新入生合同研修委員会 委員一覧	20
13. 新入生アンケート結果(選択：回答数 508)	21
14. 教員アンケート結果	32

1. ごあいさつ

大阪医科大学と大阪薬科大学は、2016年に法人合併、2021年に両大学が大学統合し、1年生から6年生まで段階的に実施される専門職連携教育〔IPE：Interprofessional Education〕が整備され、信頼関係を築くための高度な知識と技術を修得します。

専門職連携教育のスタートとなる3学部の新入生を対象とした新入生合同研修を、「良き医療人をめざして踏み出す第一歩のために」をテーマとして、2026年4月10日にグランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）にて開催しました。

対面での開催は今回で4回目となり、2026年度は新入生約500人と教職員約40人が参加しました。

企画および運営は、3学部の教職員で構成する新入生合同研修委員会が中心となり、2025年10月から新入生合同研修委員会を開催し、準備を進めました。

研修内容としては、南副学長からのメッセージを皮切りに、卒業生・在学生からの動画メッセージを視聴しました。2025年度に引き続き大阪ライフサポート協会による心肺蘇生の講義の後、実技を行い、2人もしくは3人1組で胸骨圧迫とAEDの使い方を学習しました。チーム別討論では、ポスター作成を行い、各チームが作成したポスターを掲示し、学生が投票を行いました。投票上位4チームは、成果発表会で登壇し、発表を行いました。

学生アンケートにおいても、チーム別討論や実技などを通じたコミュニケーションにより他学部生との交流が深まったとの声を聞くことができました。

本研修の開催並びに運営にご協力頂きました南副学長、各学部長を始め、チューター教員の先生方、職員の皆様には深く感謝申し上げます。

新入生合同研修委員会

2. 2026 年度新入生合同研修のテーマ及び目的について

テーマ：「良き医療人をめざして踏み出す第一歩のために」

目 的： 医学部・薬学部・看護学部の新入生が、新入生合同研修を通じて、多職種連携、医療人マインドの醸成、プロフェッショナリズムの基礎を涵養し、医療人としての第一歩になることを目的とする。

3. 開催概要

開催日時：2026 年 4 月 10 日（金）10：00～17：40

開催会場：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）3 階イベントホール

【閉会式後 記念写真】

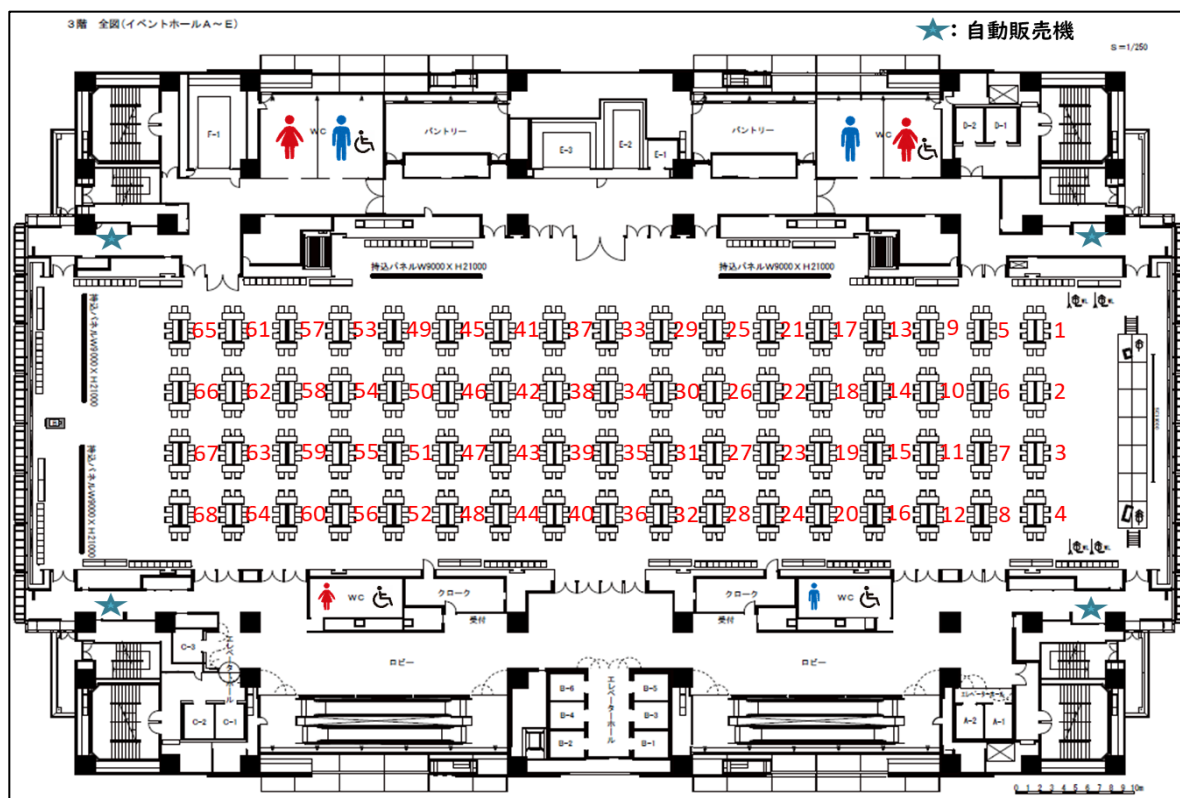


4. 研修当日スケジュール

2026 年 4 月 10 日 (金)		
時刻	項目	内容
9:30	◆学生入場開始	・会場に入場し、座席にて待機してください。
10:00	◆開会式・オリエンテーション	・副学長からのメッセージ ・オリエンテーション
10:15	◆在学生からのメッセージ	・医学部 3 分 (1 名) ・看護学部 3 分 (1 名) ・薬学部 3 分 (1 名)
10:25	◆チーム別討議①	・全体説明 5 分 ・自己紹介 10 分 ・個人ワーク 10 分 ・チームビルディング 5 分 ・グループワーク 35 分
11:30	◆昼休憩 (1 時間)	
12:30	◆卒業生からのメッセージ	・医学部 3 分 (1 名) ・看護学部 3 分 (1 名) ・薬学部 3 分 (1 名)
12:40	◆チーム別討議②	・グループワーク (110 分)
14:30	◆ポスターの掲示・投票の説明	
14:40	◆ポスター閲覧・投票	
15:20	休憩 教員は実技物品の準備	・「あっぱくん」「あっぱくんライト」の配布等
15:30	◆講演・実技 (実施後の片付け含む)	演題: 「目の前で人が倒れたらどうしますか? - 心肺蘇生・AED の使い方 -」 大阪ライフサポート協会 副理事長 西本泰久様 (70 分) (講演 30 分 実技 30 分 片付け等 10 分)
16:40	◆成果発表会	・投票上位 4 チームの発表 5 分×4 チーム=20 分 ・その他質疑応答 5 分×4 チーム=20 分
17:20	◆アンケート実施	・Google フォームにてアンケート回答
17:30	◆閉会式	
17:40	◆終了	・集合写真撮影

5. 座席配置図

(1) グランキューブ大阪 3 階 イベントホール 座席配置図



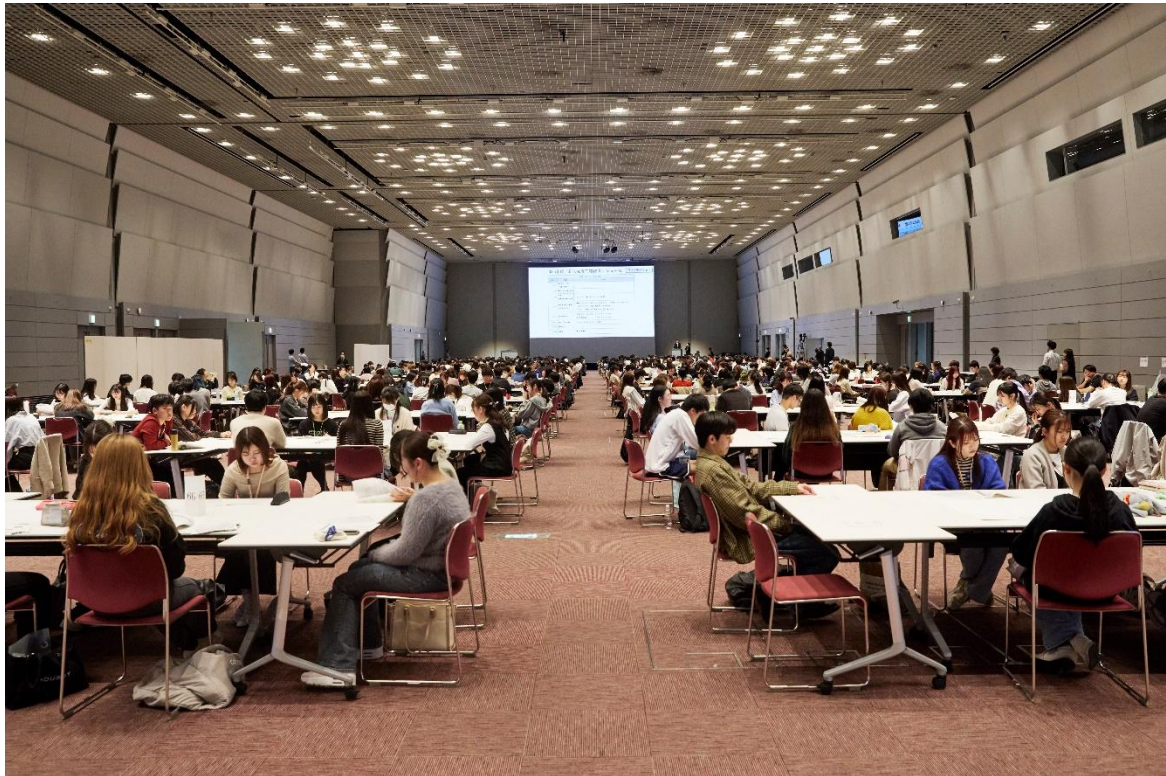
68 のチームに分け、座席配置を上記図面の通りとした。また、各チームには、3 学部 of 学生が必ず含まれるようにチーム分けを行った。なお、昨年度の新入生数を案分して、各学部で、チューター教員を選出した。また、今年度からチューター教員数を減員し、チーム討議において、3 つのチームを 1 人で担当し、チーム討議のファシリテート、資料・備品配布及び回収、成果発表会への参加などを行った。

・教職員 参加者内訳

教員数：39 人、うちチューター教員 23 人（医学部 5 人、薬学部 14 人、看護学部 4 人）

職員数：11 人（医学事務課 4 人、薬学学生課 3 名、看護学事務課 3 名、企画・広報課 1 名）

(2) 3 階イベントホール 当日風景



2025 年度と同様に、新入生合同研修はグランキューブ大阪 3 階イベントホールをメイン会場とした。また、体調不良者には、保健管理室教員が対応を行った。3 階イベントホールのお手洗いは、男女ともに 3 カ所あったが、休憩時間に集中し、混雑することを避けるため、当日のオリエンテーションにおいて、チーム別討論などの時間中に適宜お手洗いを利用するよう周知を行った。また、後方席から前方のスクリーンが見えにくい場合を考慮し、後方にもモニターを 2 台設置した。

6. 開会式（副学長からのメッセージ）

開会式において、南副学長から新入生へメッセージが贈られた。



7. 卒業生・在学生からのメッセージ

各学部の在学生1名、卒業生1名からの新入生に向けた動画メッセージ(約3分間)を視聴した。将来を見据えて、学生生活を有意義に過ごすポイントなど、具体的な内容が含まれており、新入生が大学時代をどのように過ごすか、イメージを抱くことができた。また、卒業生のメッセージには、将来医療人となり、どのような仕事に取り組んでいるか、医療人としてやりがいを感じた具体的な出来事、卒業してから気づいた大学の良い所などが含まれており、医療人を目指す新入生の将来像として参考にすることができた。

医学部	川口 直様（大阪医科薬科大学病院 一般・消化器外科学教室 助教） 上野 久さん（大阪医科薬科大学 医学部5年生・学友会前会長）
看護学部	澤田 凜音様（大阪医科薬科大学病院 看護部） 須山 智司さん（大阪医科薬科大学 看護学部4年生・総代）
薬学部	豊島 茂大様（東住吉森本病院薬剤部） 原 みなもさん（大阪医科薬科大学 薬学部4年生・学友会執行委員長）

8. チーム別討議

新入生合同研修のメインプログラムであるチーム別討論を、以下の内容で行った。

チーム別討議「良き医療人を目指す想いを「わ」を用いたメッセージで表現しよう！」

【チーム討議の内容】

1. 将来どのような“良き医療人（医師・薬剤師・看護師など）”になりたいのか、様々な視点でとらえて自己分析し、チームで共有してください。
2. チームとして“良き医療人”とは何かを導き出し、“良き医療人”を目指す想いを、医療における様々な「わ」の形を用いて、メッセージとして表現し、ポスターにまとめてください。

（1）チーム討議①

午前10時25分からのチーム討議①では、初めに学生が自己紹介を行い、その後、個人ワークとして将来どのような良き医療人になりたいか各自で分析し、その考えた内容を「目標設定シート」に書き出した。その後、チームビルディングとして役割分担を行った後、35分間のグループワークを行った。グループワークでは、個人ワークで導き出した内容をそれぞれ発表し、良き医療人になるために学生生活をどのように過ごすのかチームで話し合いを行った

・チーム討議① プログラム

1. 全体説明（5分）

2. 自己紹介（10分）

名前、学部、趣味や出身、特技などの自己紹介（1人1分×7～8名）

3. 個人ワーク（10分）

将来どのような“良き医療人（医師・薬剤師・看護師など）”になりたいのか、様々な視点でとらえて自己分析を行い、「目標設定シート」に可能な範囲で記入する。

4. チームビルディング（5分）

司会、発表者、書記、タイムキーパーを決める

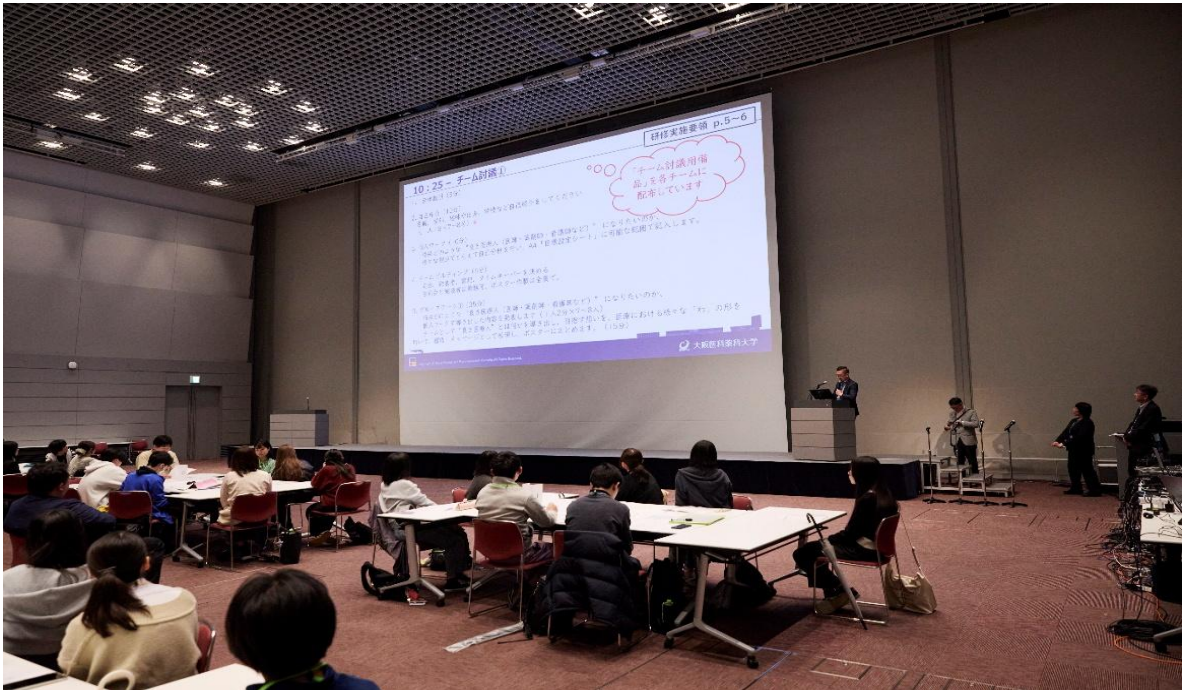
※司会と発表者は兼務可、ポスター作製は全員で。

5. グループワーク①（35分）

将来どのような“良き医療人（医師・薬剤師・看護師など）”になりたいのか、個人ワークで導き出した内容を発表する（1人2分×7～8人）

個人ワークの発表から、“良き医療人”とは何か、“良き医療人”になるためには、学生生活をどのように過ごすのかを、グループで話し合う（15分）

(2) チーム討議① 当日風景



(3) チーム討議②

お昼休憩後の12時40分から110分間チーム討議②を行った。チーム討議②では、午前中の討論を踏まえて、“良き医療人”とは何かを導き出し、“良き医療人”を目指す想いを、医療における様々な「わ」の形を用いて、チームで協力し、ポスターにまとめた。また、ポスター作製にあたっては、以下の留意点を予め学生に伝えた。

ポスター作製について

具体的なイメージ、キーワード、簡単な説明文をポスターにまとめてください。

・グループA・B（チーム1～34）：漢字を用いた表現

・グループC・D（チーム35～68）：ひらがなを用いた表現

指定された表現方法を踏まえ、ポスターを作成してください。

①ポスターに必ず入れる項目

1. どのような“良き医療人”になりたいのか具体的なイメージとその説明
2. “良き医療人”を目指す想いを「わ」を用いた標語・メッセージで記入すること
3. ポスターの右上に、『チーム番号』を記入

②ポスター作製の留意点

1. チームで協力して、ポスターを清書する。
2. ポスター1枚に発表の内容をまとめる。
3. 文字は大きく見やすいように記入する。
4. 効果的にメッセージを示すためにイラストや図表を適宜使用する。

(4) チーム討議② 当日風景





(5) チーム討議での新入生の様子について

チーム討議①では、初対面の学生が多く、当初は緊張した様子が見られたが、グループワーク①において意見共有を行うことで、チーム内のコミュニケーションが徐々に活性化した。チーム討議②では、学生同士が協力しながら主体的にポスター作製に取り組み、机配置の調整などを通じて、リラックスした雰囲気の中で活動が行われた。休憩時間を含めた交流を通じて学生間の関係性が深まり、円滑なチーム活動につながった。

9. 学生によるポスター掲示、成果物への投票について

(1) グループへの割り振りについて

学生によるポスター掲示及び成果物への投票に先立ち、以下の通り、4つのグループ(A,B,C,D)に、グループ分けを行った。

【グループ割り振り】グループA：チーム 1～17

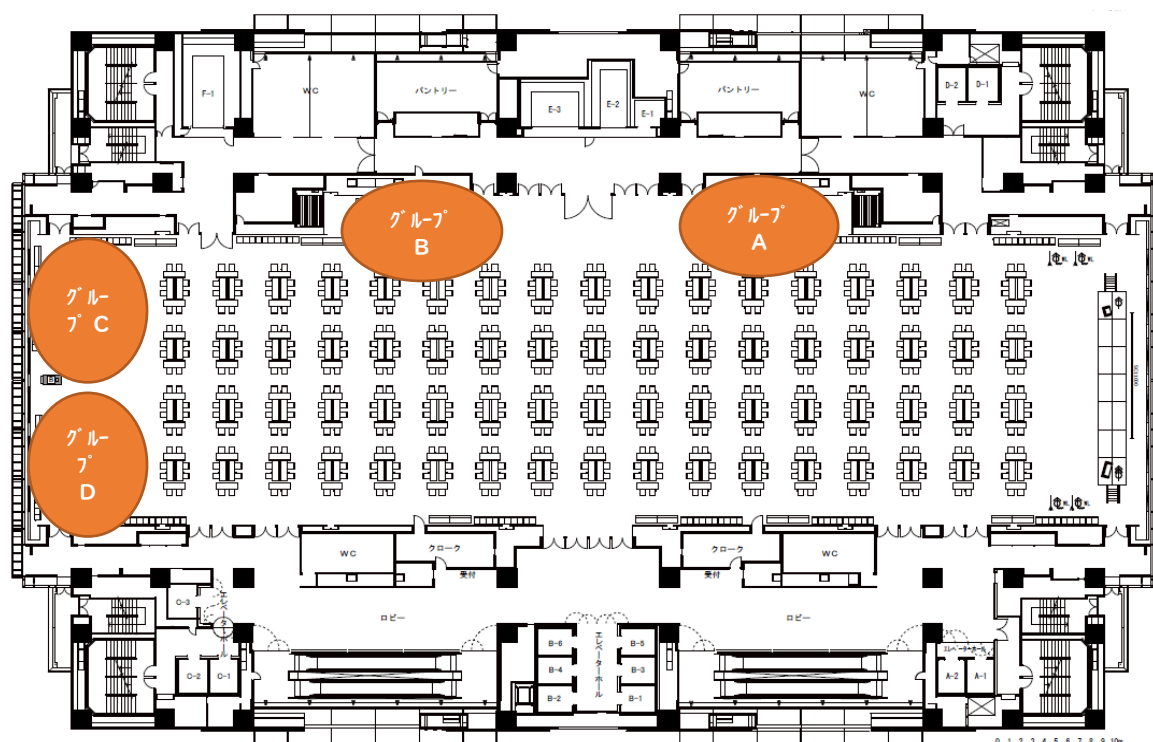
グループB：チーム 18～34

グループC：チーム 35～51

グループD：チーム 52～68

(2) ポスターの掲示について

以下の箇所に、パネルを設置し、各チームの代表者が、チーム番号の表示があるパネルに、チーム討議の成果物であるポスターの掲示を行った。



(3) 投票について

ポスター掲示の後、成果物のポスターを新入生が見て回った。

投票については、14:40～15:20の40分間で以下の指定されたグループのポスターを見て回り、時間内に、研修実施要領（当日配布資料）に記載されたQRコードを学生自身のスマホで読み取り、アクセスした投票ページから投票を行った。スマホを利用できない学生は、紙で投票できるよう準備を行った。

学生自身のスマホを用いることにより、学生による成果物への投票を可能とし、成果発表会までの集計作業を円滑に行うことができた。

以下のとおり投票した。

- チーム1～17の学生は、グループB（チーム18～34）のポスターを見て投票
- チーム18～34の学生は、グループA（チーム1～17）のポスターを見て投票
- チーム35～51の学生は、グループD（チーム52～68）のポスターを見て投票
- チーム52～68の学生は、グループC（チーム35～51）のポスターを見て投票

(4) ポスター閲覧・投票 当日風景

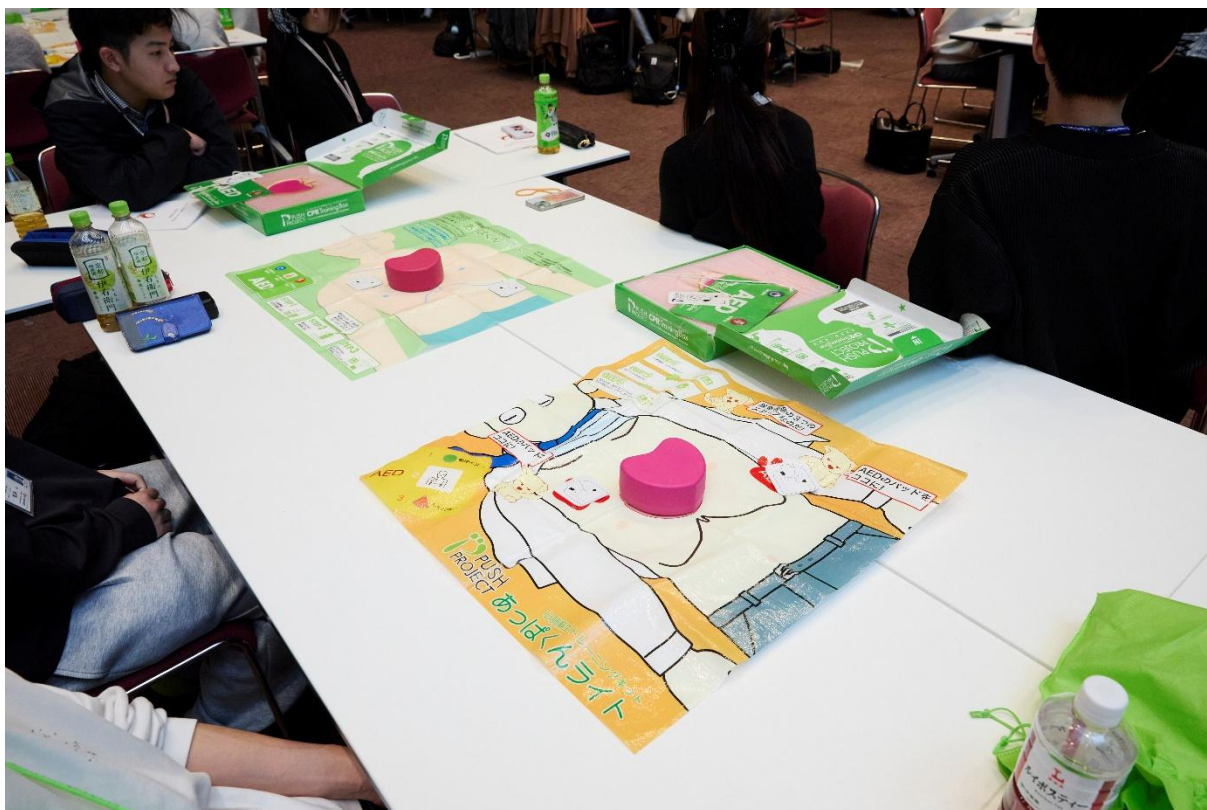


10. 講演・実技

講演では、大阪ライフサポート協会 副理事長の西本泰久氏に、「目の前で人が倒れたらどうしますか？～心肺蘇生・AED の使い方～」という演題で講演頂いた。



実技では、あっぱくん、あっぱくんライトというトレーニングキットを用いた胸骨圧迫とAED の使い方を学習した。





11. 成果発表会

(1) 成果発表会

学生の投票により、4つのグループのなかで最も投票数の多かったチームは登壇し、成果物を用いて発表を行った。またチームを担当したチューター教員も登壇し、コメントを頂戴した。

(2) 各グループで最も投票数が多かったチームの成果物

グループA チーム17 (投票数47)



グループB チーム31 (投票数50)



グループC チーム46 (投票数33)



グループD チーム53 (投票数44)



(3) 成果発表会 当日風景



12. 新入生合同研修委員会の活動について

(1) 準備・実施スケジュール

2026年度 新入生合同研修 準備・実施スケジュール									
担当	内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
	委員会開催スケジュール	●		●	●	●	●		●
委員会審議事項	合同研修 開催形式等の概要の確定	→							
委員会審議事項	在学生・卒業生メッセージ、グループ討議の内容、講演者の確定	→							
委員会審議事項	グループ討議のチューター教員の人数、役割、従事時間の確定	→							
委員会審議事項	新入生・チューター向け説明内容の確定・Zoom説明会の実施				→		3月中旬(オンライン開催後youtube)		
委員会審議事項	合同研修 最終確認						→		
委員会審議事項	合同研修 報告書の承認								→
主幹事務	執行経費に関する決裁何の起案	→							
各学部事務	チューター教員の選出依頼・自己紹介スライドの作成依頼	チューター教員選出 締め切り12/19		→		自己紹介データ 2/16締め切り			
主幹事務	チューター教員、自己紹介文の取り纏め					→			
支援センター	卒業生・在学生へのビデオメッセージ依頼			→			ビデオメッセージ 2/13締め切り		
支援センター・主幹事務	講演の依頼		→			配布資料・略歴 3/13締め切り			
主幹事務	当日の配布資料、筆記用具等の準備・作成(ジャムボード関係データ作成)				→				
支援センター・各学部事務	オリエンテーション説明用簡易スライド作成					→		3/23完成・印刷	4/1チューターにメール配信 新入生は即時配付
支援センター・各学部事務	合同研修当日配布用 説明資料作成※				→			3/30完成・印刷	
主幹事務・各学部事務	新入生・チューター名簿・グループの割り振り 配信						→ 4月6日チューター教員・学生配信		
支援センター	新入生オリエンテーション 新入生への説明						→ 4月上旬		
全員	本番 2026年4月10日(金)							★	
支援センター・各学部事務	報告書作成							→	

(2) 新入生合同研修委員会 開催状況

第1回委員会

日時: 10月24日(金) 11:00~12:00

場所: 特別応接室 ※zoom 併用

議事:

1. 2026年度新入生合同研修委員会
委員長・委員について
2. 新入生合同研修の開催案について
3. 新入生合同研修準備・スケジュールについて
4. グループ数とチューター教員について

第2回委員会

日時: 12月12日(金) 13:00~14:00

場所: 特別応接室 ※zoom 併用

議事:

1. 研修準備スケジュールの確認
2. 実施概要・研修スケジュールについて
3. チーム討議テーマ案について
4. 在学生・卒業生メッセージの依頼について
5. 講演・実技について
6. チーム討議の投票方法について

第3回委員会

日時: 1月27日(火) 13:00~14:00

場所: 特別応接室 ※zoom 併用

議事:

1. 研修準備スケジュールの確認
2. チーム討議内容について
3. チューター教員の選出状況・自己紹介スライド作成について
4. 在学生・卒業生の選出状況について
5. 予算執行予定について
6. チューター教員の業務説明会について

第4回委員会

日時: 2月18日(水) 13:00~14:00

場所: 特別応接室 ※zoom 併用

議事:

1. 研修準備スケジュールの確認
2. グループワークの方法について
3. 予算執行予定について
4. 当日配布資料・準備物品について
5. サブモニターの設置及び写真撮影について
6. 弁当・チューター教員の昼食会場について
7. 実施後アンケート調査について
8. チューター教員説明会資料について

第5回委員会

日時: 3月23日(月) 15:00~16:00

場所: 特別応接室 ※zoom 併用

議事:

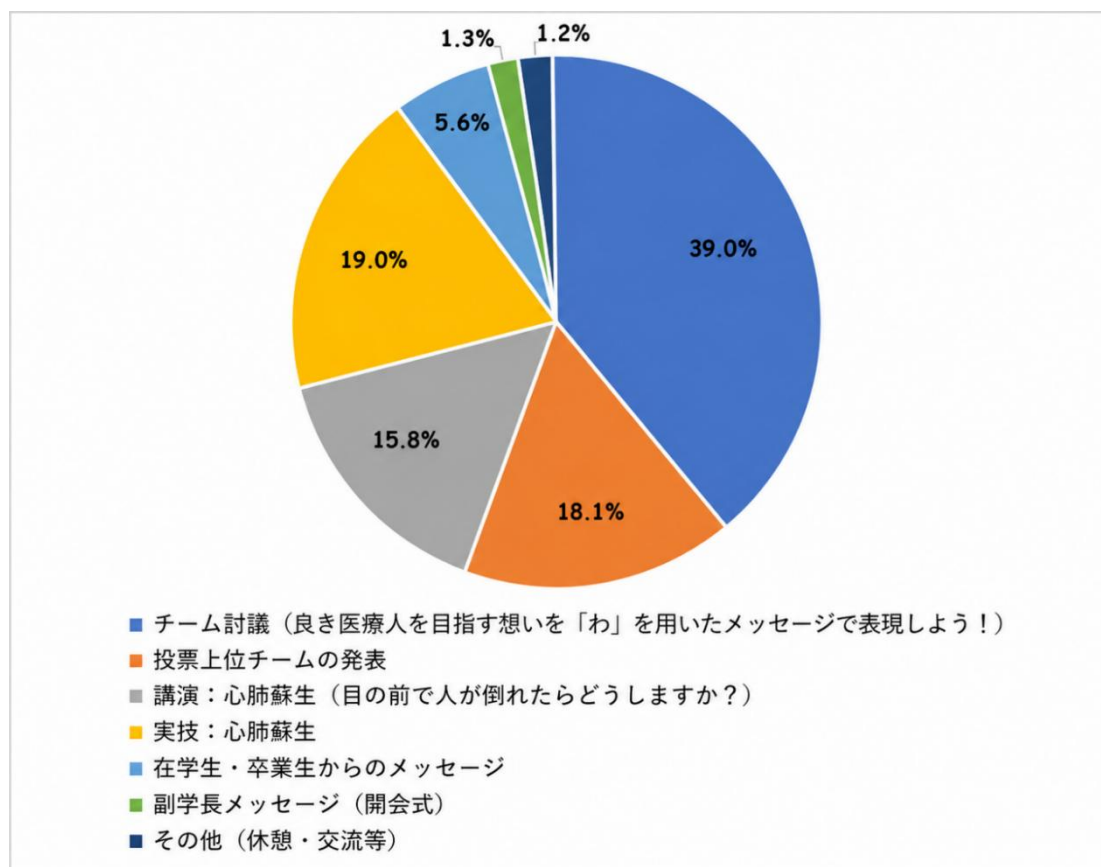
1. 研修準備・当日スケジュールの確認
2. チューター教員自己紹介スライドについて
3. 研修実施要領について
4. 新入生オリエンテーション説明資料について
5. 当日の司会分担について
6. 当日撮影スライドについて
7. その他確認事項について

新入生合同研修委員会 委員一覧

No.	所属／役職	名前	備考
1	医学学生生活支援センター長	廣瀬 善信	委員長
2	医学教育センター長	今川 彰久	
3	薬学学生生活支援センター長	藤森 功	
4	薬学教育センター長	大喜多 守	
5	看護学学生生活支援センター長	池西 悦子	
6	看護学教育センター長	真継 和子	
7	医学学生生活支援副センター長	谷口 高平	
8	医学部 講師	澤村 律子	
9	医学部 講師	山本 耕裕	
10	薬学部 教授	永井 純也	
11	薬学部 教授	矢野 良一	
12	薬学部 教授	加藤 隆児	
13	看護学部 准教授	川北 敬美	
14	看護学部 准教授	間中 麻衣子	
15	看護学部 講師	杉木 佐知子	
16	学務部医学事務課 課長	藤原 佐智	
17	薬学学務部学生課 次長	前田 将昭	
18	学務部看護学事務課 課長	上久保 純	

13. 新入生アンケート結果(選択：回答数 508)

(1-1) プログラムのうち、印象に残った内容は何か？ (選択) ※複数選択可



(1-2) (1-1)の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：508（以下主な意見を抜粋）

チーム討議（良き医療人を目指す想いを「わ」を用いたメッセージで表現しよう！）

- ・ ポスターの制作は、どのようなデザインにすることで伝わるのか、見やすいのかを考えて、ものにするのが大変で難しかったですが、話し合いをすることで、他の学部の子、同じ学部の子、みんなと交流ができ、楽しい時間を過ごすことが出来たと思ったから。
- ・ グループのメンバーと一緒に話し合いながらどのように作っていくのかを決めて、薬学部だけではなく他の学部の意見や案を聞いて自分の世界観が広がったから。
- ・ ポスター制作をしていくうちにだんだんグループの熱が上がって行って廣瀬賞をもらえたから。
- ・ 薬学部と普段関わりのない看護学部と医学部とどんなことを書いていきたいかを対話しながら協力してポスターを作ることができ、仲を深められたから。また、自分には思いつかないような言葉や発想をえることができたから。
- ・ チームで話し合う時間に、他の人のクリエイティブさが豊富な意見を聞いて、刺激を受けたから。また、他学部の子と交流できた時間も楽しかったから。
- ・ 初対面した6名とのグループワークで、打ち解けることの難しさを痛感したため。

- ・ 事前に自分ひとりで少し考えていたのですが、自分一人では全く思いつかなかった『わ』から広がる医療への姿勢をチーム内や上位チームの発表を通して、学ぶことができたから。チーム内で一人一人の意見を統合していったのも良かったと思う。
- ・ 「わ」という文字を、様々な視点で医療と繋げたポスターを見ることができて面白かったです。私には無い発想を聞くことができました。
- ・ 「わ」について話し合うのが、新鮮だったし、それぞれで考えることも違って刺激になった。自分たちの班も素晴らしいなと思ってたが、たくさんグループがある中で選ばれた四班分は少し考え方が柔軟だなと思った。違う見方を持っていてすごいと思った。

投票上位チームの発表

- ・ ポスターの投票では他のグループの素晴らしい作品を見させていただきました。同じ学年の方なのに自分との差を感じ、今回の合同研修会でもっと上手くコミュニケーションをとることができたのではないかと感じたからです。
- ・ 自分の頭だけでは思いつかないような創造力にあふれたポスターばかりだったので、他の人の考え方を学ぶ良い機会になったため。
- ・ ポスターの説明を聞くことで、より「わ」の意味が深まったから。色んな発想があって面白かった。
- ・ わという言葉だけでも様々な意味があって、医療界にはたくさん見えないつながりがあると思ったから

講演：心肺蘇生（目の前で人が倒れたらどうしますか？）

- ・ 心肺蘇生、AEDの使用についてこれまで学校の授業で習ったことはあったものの、実際にやってみたことはなく、実技を通して胸骨圧迫の大変さを知れてとても良かったと感じたから。また、自分が行動しないことで亡くなってしまったり社会復帰できなくなる可能性が高まってしまうということが講演で理解でき、自分が医療人であろうとなかろうと、勇気を持って行動していきたいと感じたから。
- ・ 人は簡単にすぐ亡くなるけれど、一人の努力で救うことができる命があるということがとても印象に残った
- ・ 心臓の映像を観ることができて興味深かった。胸骨圧迫についてある程度知っていたつもりでいたが、まだ知らなかった部分を聞くことができた。
- ・ 「君の瞳」の紹介動画がとても印象的でした。
人が亡くなってから AED が一般の市民にも使用可能になったと聞いて亡くなってからでは遅いのではないのか、しかし亡くなってからでしか気がつけないこともあるので仕方ないことなのかとも思いました。
- ・ 今まで現実味がなかったけれどいざ医療系大学に入学したことで責任を感じました。
また多くの人々が心臓突然死をしており身近で起こるかもしれないのでしっかり学ぶことの大切さをしました。

実技：心肺蘇生

- ・ 普段なかなかできない体験が出来たし、必ず出来るようにならないといけない事なのでごくいい経験だと思ったから。
- ・ 心配蘇生をやって、やっと医学部に入ってこれから医師になるためにたくさん学んでいくんだなと実感しました。
- ・ 看護学生になり医療従事者となる自覚を持ってから初的心肺蘇生の練習だったので印象に残った
- ・ 心肺蘇生については、今まで講演などで見たことや聞いたことはあっても、ここまで実践的にしたことはなかったのでとても良い経験となり印象に残りました。
- ・ 初めてちゃんと AED の使い方を知れたから。
これから医療に携わるので AED の使い方を知らないで済まされないと思っていたのでこの機会に知れて良かったです。

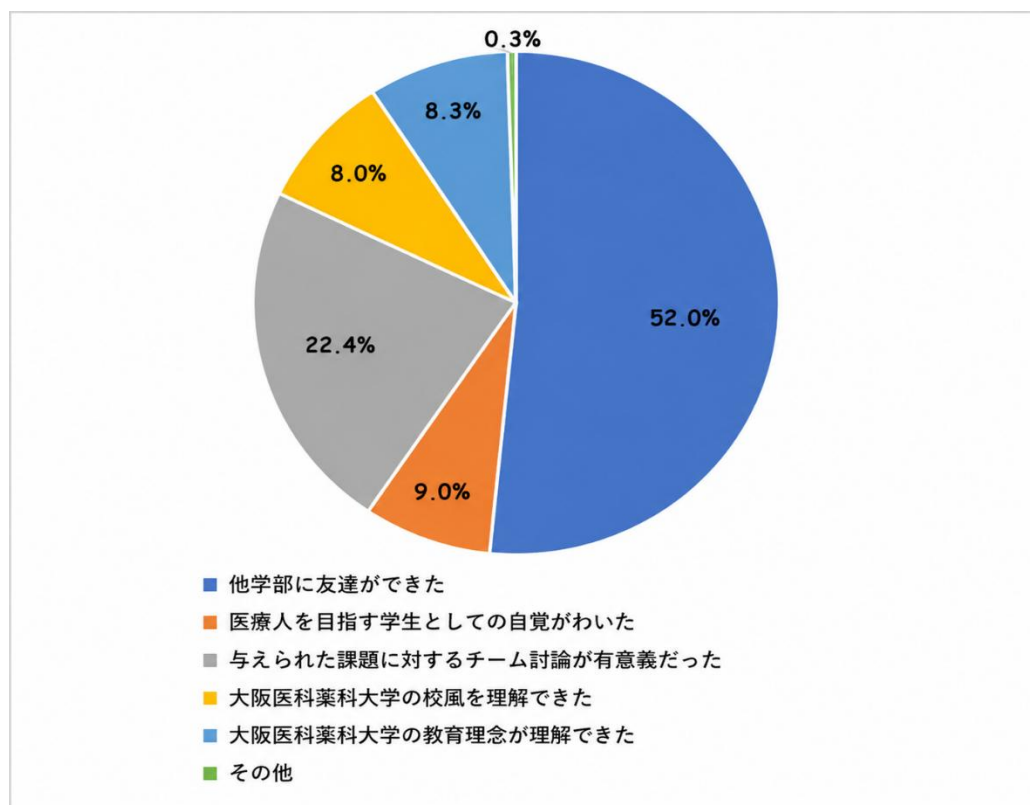
在学生・卒業生からのメッセージ

- ・ 大学生活でのアドバイスに加え、とても楽しそうな様子であったので印象に残った。
- ・ 何より医学部在校生のメッセージが面白く、雰囲気が和らいだ。
- ・ 先輩方がどういう大学生活を送ってこれたのか、大学での経験を今どういかしているのかを知ることができ自分の今後を見つめ直すきっかけになった
- ・ 医学部の在校生のメッセージが面白かったです、もう少し音が響いてなくてはっきり聞こえたらもっと楽しめたのかなと思います。
- ・ 在学生のメッセージで医学部の方が漫才のように説明されていて、とても楽しく聞いていて飽きなかった。
- ・ 先輩や卒業生の方々のメッセージがこれからの自分に繋がる有益なメッセージでとても心に残った。
- ・ 在学生、卒業生の話では実際に大阪医科薬科に通っている方々の声を直接聞くことができて印象的でした。
- ・ 先輩や卒業生との関わりがまだなくて雰囲気もわからなかったのでメッセージの動画を見て学校生活、その後のキャリアについて少ししれたから。
- ・ 大阪医大の校風が出ていた

副学長メッセージ（開会式）

- ・ プレゼンテーションをするうえでの心構えが非常に参考になった。
- ・ 医療に携わる人間として感銘を受けた。

(2-1)プログラムを受講して良かったことは何ですか？（選択） ※複数選択可



(2-2) (2-1)の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：508（以下主な意見を抜粋）

他学部で友達が出来た

- ・ チームで討論するのは普段から頻繁にできることではないのでとても貴重な機会だったからです。
- ・ この機会がなかったら他学部の学生と関わることはなかったと思うので、友達できてよかったから。
- ・ 薬学部はそもそも他学部と校舎の場所が離れすぎていて、そもそも関わる事がなかったのて、堅苦しい雰囲気を感じていたが、かなりフレンドリーで面白くて気さくに話してくれる医学部生や看護学部生と仲良くなれて嬉しかったから。
- ・ 学部ごとに少し偏見があったけどみんな優しい人達とわかったから。
- ・ キャンパスも違うのでほんとに関わることがない他学部と知り合えてよかった。
- ・ 他学部との関わりは今後も大切になると思うので、知り合いができて嬉しかったです。
- ・ 医学部や看護学部の友達できたのも良かったのですが、薬学部は人数が多く面識のない人が多いのでたくさんの人がいるということが実感できたし、それぞれが医療について様々な意見を持っているということが感じられたので自分が医療人を目指しているという自覚が増したから。

医療人を目指す学生としての自覚がわいた

- ・ 心肺蘇生の講義がとても印象的でこれからは率先して動いていかないといけないという自覚をもつことができたものでした。
- ・ あっぱくんやあっぱくんライトを使って胸骨圧迫の仕方を改めて理解することができ、身の回りで倒れている人がいた時に勇気を持って行動する事の重要性を知れたから。
- ・ 医療人として、人を支えたり助けたりすることがどれだけ責任が重く大変かが分かった。これから6年間で学ぶことを1つずつ着実に出来るようにして行こうと再度思われたから。
- ・ 心停止のビデオを見て医療人としての自覚が芽生えたから
- ・ 交流した人達がみんなそれぞれ目指すものを明確にしていたから
- ・ 今までとは違い同じ医療という志を持った人達で構成されているので自分が今将来の職業に直結してる内容を目の当たりにしてると改めて自覚したから
- ・ チーム討論の場で色々な意見を聞けて、入学したてで、薬剤師になれるよう頑張るといった漠然とした目標しかなかったけど、意識を変えることができた。

与えられた課題に対するチーム討議が有意義だった

- ・ ひらがなの「わ」がテーマで難しかったけど、初対面の人たちと議論することで、初めての経験ができたし、人と連携して何かをすることの大切さもわかったから。
- ・ 今まで考えたことなかったことを考えることによって、さらに向上心がうまれた。
- ・ 一つのものについてみんなで考えるというのは、医療の現場に出た時も患者さんについて話すという場面に活かすことができると思ったから。
- ・ 「わ」という1文字についてこんなに有意義にはなせるとは思わなかったから。
- ・ それぞれの意見などを共有できて、チーム医療へのイメージがついたから。
- ・ 他学部同士でさまざまな意見を出しながら形にできたため
- ・ 学部の垣根を越えて協力することができたから
- ・ 他学部と交流する初めての機会だったが根底にある患者と向き合う気持ちはみんな同じであることがわかり、実りの多い時間だった。

大阪医科薬科大学の校風を理解できた

- ・ プレゼンから、校風も非常にフレンドリーな雰囲気なので緊張がほぐれました。
- ・ チームを自由にやらせすぎるのはよくないと感じた。自分の意見を遠慮するのもよくないと感じた。
- ・ 医学部の先輩の話の時に大阪医科薬科大学の雰囲気を感じたから。
- ・ IPEを大事にしているということを強調していたので理解できたから。

大阪医科薬科大学の教育理念が理解できた

- ・ 私は大阪医科薬科大学で多職種連携教育を学びたくてこの大学を選びました。多職種連携をこの会でとても実感できたからです。
- ・ 薬学部および看護学部の方と話すことで他の医療学部の方たちがどのような考えを持っている

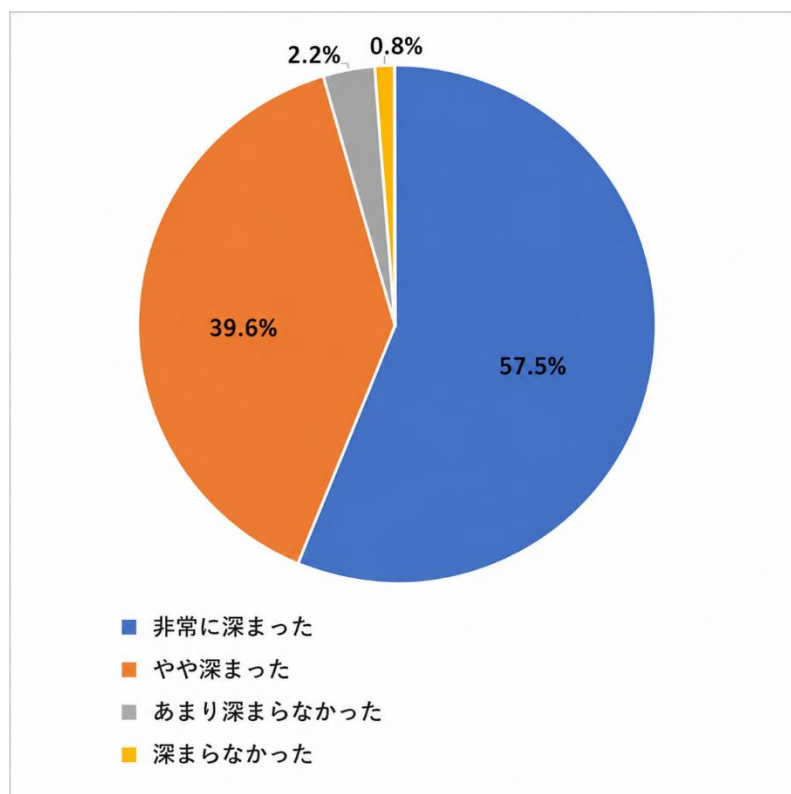
るか知ることができたため

- ・ 討論では案を出しあって練ったのが面白かった。このように他学部との連携を深めていくんだなと実感できた。
- ・ 3学部集まってる大阪医科薬科大学だからこそ行うことができると再度認識できた
- ・ 大阪医科薬科大学が掲げる連携医療をより深く意識できたから
- ・ IPEを大事にしているということを強調していたので理解できたから。

その他

- ・ AEDについて学べた
- ・ グループに率先して仕切る人が居ない時、自分がどのように立ち回るべきなのか、考えることが出来たため。

(3-1)参加前と比べて、参加した後の方が、自分が入学した学部で学ぶべきことの理解が深まりましたか？ ※選択



(3-2)(3-1)の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答：508（以下主な意見を抜粋）

非常に深まった

- ・ 心配蘇生の講演の際映像を見たり演習をしたりして将来どう在りたいかを再認識する良い機会になったからです。
- ・ 将来は国家試験を受けて薬剤師という職業を持つことになる。そのような曖昧な終着地点は

目に見えていましたが、チーム医療として色々な分野の方々と関わり協働していく必要があることを実感しました。

- ・ それぞれの学部での考え方をすることで、さらに自分自身が薬剤師として果たすべきことに気づくことができた。
- ・ 実技や多くの人からのメッセージ、講演を通じて自分がこれから医療人の一人としていろんな人と連携を取りながら人を助けに行くのだと言う実感がとても湧いたから。
- ・ 様々な人々と、それも最初名前も知らなかった相手との交流は自分が知らない、または考えたこともないような意見、考えが多くあり大変有意義でした
- ・ 将来医師を志す身として、私がグループを引っ張っていかなければという思いがあったが、討論を重ねていく中で、私が無理に引っ張っていくのではなく、話し合いに参加したくなるような雰囲気を作ることが大切だと気づいたから。
- ・ 医療は患者さんとの「わ」が必要であることを改めて感じる事ができたから。

やや深まった

- ・ 心肺蘇生での講義で人の命に対して改めて考えることがあったから。
- ・ 医学、看護学とは違った専門的知識が必要なこと、また三学部、他の職業の人との関わりも大切なことを改めて感じる事が出来たから。
- ・ 他の職種の人にはできない、専門的な見方をする必要があると感じたから。
- ・ 看護学部の中だけじゃ気づかなかったチーム医療の大切さについて学べたから。
- ・ 医療人の一員として看護師にしかできないこともあるし、医師、薬剤師と共に連携する大事さも知れたから。
- ・ 協調性の重要性は学べたが、医学部としての専門性をまだ実感できていないから
- ・

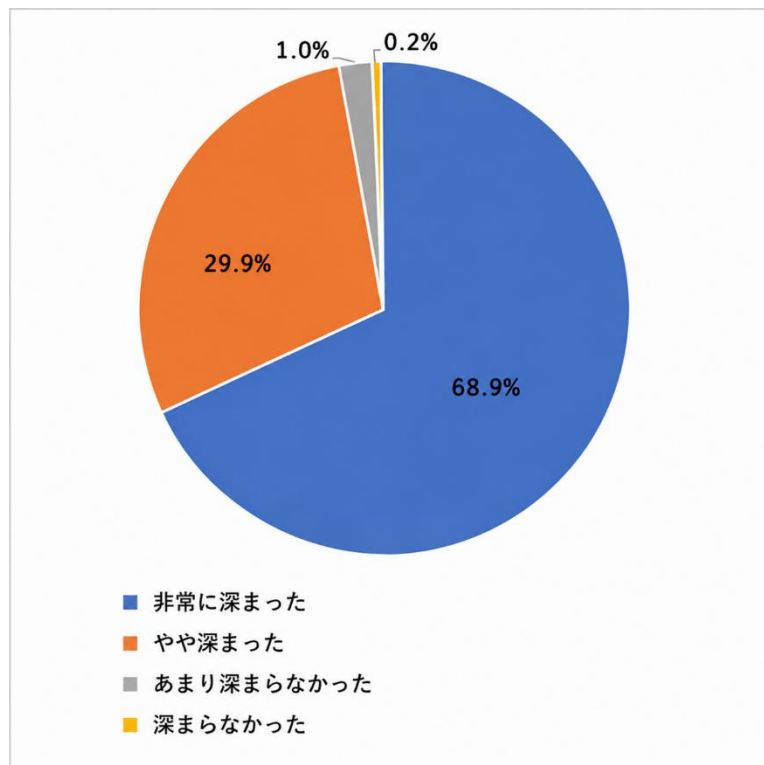
あまり深まらなかった

- ・ 各々の学部自体を掘り下げたわけではなく、どちらかと言うと医療人全体の話がメインな研修だと思うから。
- ・ 薬学部についての話があまり無かった
- ・ 真面目に考えるのは、大事なことだけど、もっと遊び心を持った方が、医師として学ぶ上で、効率よくできると感じた。
- ・ あまり看護に直結するものがなかった気がしたから
- ・ 今回は議題について話し合うというより、お互いのパーソナルなことについて話し合うことが自分のグループでは多かったから。
- ・ 学部で学ぶべきことよりかはどのように協力し合うかが重点に置かれた企画だと感じたから

深まらなかった

- ・ チームを和ませようと努力したが、なかなかうまくいかなかった。人見知りの方が多くて辛かったです、、いい方たちでしたが、、
- ・ 医学部じゃなくても出来る内容だから。

(4-1)参加前と比べて、参加した後の方が、良き医療人となるために必要なことの理解が深まりましたか？ ※選択



(4-2)(4-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：508（以下主な意見を抜粋）

非常に深まった

- ・ これはチーム討議の中で理解を深めることができました。まだまだこれから気がつくことがあると思いますが、たくさんの「わ」の意味を調べ、考え、共有し、医療人として必要なことを学ぶことができました。
- ・ 自分が考えていなかったような視点も手に入れることができたから
- ・ 良き医療人という言葉を書いても、具体的なイメージがわいていなかったけど、班のみんなの意見や優勝チームの発表で、イメージをもつことができたから。
- ・ 私は患者さんに色々な選択肢を分かりやすく与えて患者さんに治療法を選んで貰うことに重点を置いていたが、それは患者さんに信頼してもらい、患者さんについてをたくさん話していただかないといけないという前提があつての事だったのでそれに気がつけたから。
- ・ 『わ』という一文字でも医療に関わる様々なことが連想できたのが興味深く、良き医療人になるために必要なことも沢山詰まっていたから。
- ・ 人によって何が大切であるのか、価値観はやはり異なります。経験して感じたことが違うので当たり前の事ではありますが改めてそれに新しく触れることで自分の事も客観視することができた

やや深まった

- ・ ポスター制作を通してさらにコミュニケーション能力など伝え合う力の重要性が理解できたため。
- ・ チーム討議の時間を通して、他の学部の人、同じ学部の人自分とは違う意見なども聞くことができ、自分の価値観だけでなく、いろいろな角度から見ることができたと思ったから。
- ・ AED の講義を聞いて、今まで他で困っている人がいてもどこか他人事のように思っていた節がありましたが、私の躊躇がその方の人生に大きな影響を与えることがあることを自覚し、医療人になる者として積極的に声を掛けないといけないと思った。
- ・ さまざまなポスターを見て色々な視点から医療についての考えを聞いて新たな知見やアイデアを得られたのは非常に有意義だったと感じます。
- ・ チーム医療の大切さは理解できたが、薬剤師の役割について深く知ることができなかった。
- ・ 各学科で学ぶことも異なるがチーム医療には横の繋がりが必須で一つ欠けることで成り立たないことが理解できたため。

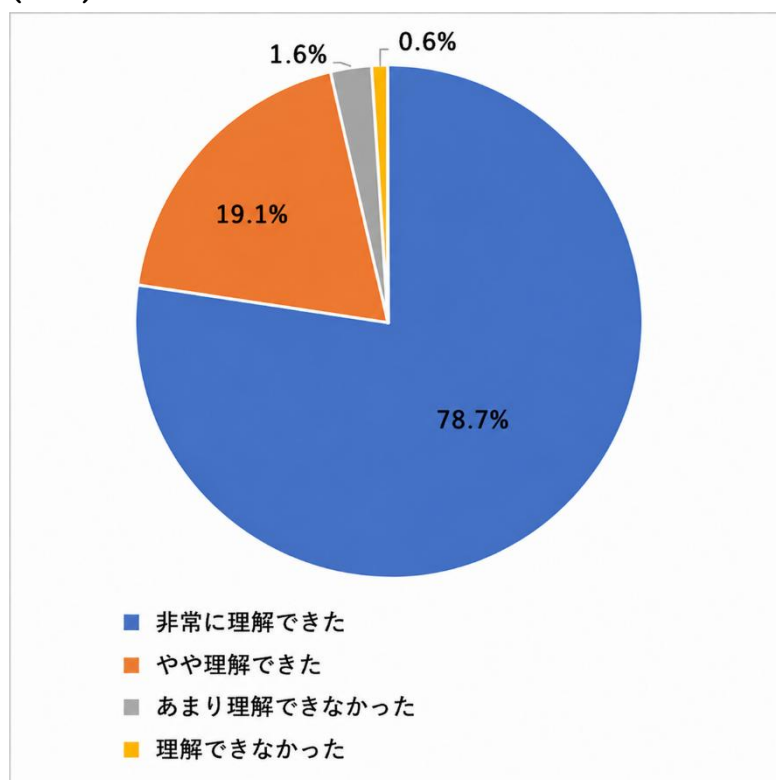
あまり深まらなかった

- ・ 難しい内容だから。なかなか答えが出ないから。
- ・ どの部分でそう思わせようとしてるのか分からない。
- ・ わ だけでは良き医療人は完成しないから

深まらなかった

- ・ 特に理由はありません

(5-1)参加前と比べて、参加した後のほうが、多職種連携の重要性を理解できましたか。※選択



(5-2)(5-1)の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答：508（以下主な意見を抜粋）

非常に理解できた

- ・ 医療関係の大学に入るまでは医師、看護師、薬剤師とそれぞれひとつの職業として見ていました。しかし、大学に入り今回の研修を受けて患者さん達を支えていくにはその3つの職業だけでなくたくさんの人々との連携の大切さを知りました。そのためにはコミュニケーション能力をはじめ知識があるだけでは行けないことにも気づきました。
- ・ 自分の考えだけでは辿り着けない意見を手に入れることができると感じたから
- ・ 今日の交流を通して、多職種の人と協力することでより良い医療を提供できると感じた。
- ・ 会話を重ねるうちに、どの学部でも患者さんのことを1番に考えてるなと思ったから。
- ・ 医療行為は一人では出来ないという言葉がかなり印象に残りました。お互いの重要性や役割を認め敬意を持ち、最善を尽くすことが大切だと思いました。
- ・ 多職種連携はこういう設けられた場だけでなく、将来病院で働く時などでも必要なことだと思ったので、こういう機会をこれからも逃さずに大切に励んでいきたいなと思いました。
- ・ 学部によってそれぞれ違う役割だが、それらが協力して「わ」になることによって出来ることかなり幅広くなることを知ったから。
- ・ 講義の際、「医師、看護師、薬剤師はそれぞれ1人では何もできない」と言うことを聞いて、チームで討議したところ、本当にその通りだなと強く実感しました。

やや理解できた

- ・ 私たちの班では、将来の私たち医療従事者同士の連携で繋がるわと、患者さんがいるからこそ生まれるわを合わせて考えた。
- ・ コミュニケーションを取ることはできたが、具体的な多職種連携の例を学ぶことは出来なかったから。なので今後実用的に多職種連携を通し、医療の効率化を図っていきたい。
- ・ 他学部間での考え方だったり、医療人としての心構えはこの4月の短い間でも似て非なるものではあったので面白かったです。
- ・ コメディカルそれぞれの役割があり、他の学部の人と話さないと意識できないような事が多かった。

あまり理解できなかった

- ・ まだ学び始めたところなので今回ではあまり実感は出来ませんでした。
- ・ 多職種連携が重要だということはわかるがそれを深めるような会ではないかなと思ったから。
- ・ 看護、薬学の特長を生かしたタスクはこなしてないから。

理解できなかった

- ・ 参加する前の方が多職種連携の大切さを理解していたと思います。
- ・ もともと理解していたので変化はなし

- ・ 始めて他学部の学生と交流したから。

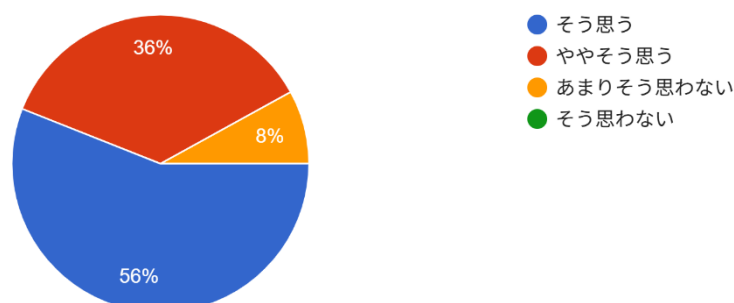
(6)三学部合同で行ったことについての感想や、その他意見があればお願いします。

回答：506（以下主な意見を抜粋）

- ・ 他学部の方と関わって、新しい視点も持ててとても良い機会でした。
- ・ 薬学部は医学部と看護学部のキャンパスと離れているのであまり関わりがないけど、今回のような合同研修をすることで他学部の人と交流ができて友達が増えて良かったです。
- ・ 多職種連携を行わないと人を助けることは不可能だということがわかったのてどの職種が上でどの職種が下といった職における上下関係というものは一切せずにお互いを尊敬し合いながらそれぞれの職種の専門分野を補い合いながら医療に携わることの大切さを改めて深く実感した。
- ・ 始まるまでは全然知らない人と話すことに抵抗があったけれど、みんなで話をしてポスターを作っているうちに来てよかったと思いました。
- ・ いろんな人と話す経験になってとても嬉しかったです。あと、肌色のペンが欲しかったです。
- ・ AEDの話は非常に興味深かったと思います。ポスター作りも短時間で構成を考えて色を塗ってって大変だったけど、とても楽しい時間を過ごせたと思う。
- ・ 「わ」が広がりました！
- ・ チーム討議での内容の範囲をより広くした方が多くの意見が集まるように感じました。そして、前年度のポスターの例などがあればより多くの意見や発想を出せると思います。
- ・ もっと三学部合同でのイベントがあったらいいのにと思いました。薬学部でも友達じゃなかった子と仲良くなれて良い機会でした。
- ・ 私はこの研修で医師になるための実感がとても湧きました。世のため人のために生きる最高の医師になれるよう努力していきたいと思います。
- ・ とても楽しかった。様々な価値観を持った人の意見を聞くことで自分の学びに繋がったから。
- ・ 自分は医師が出来ることを考えることが多かったけど、薬学部や看護学部の友達と関わってより医療従事者に対する理解が深まった。
- ・ 自分なりにチームに和んでもらおうと頑張りましたが、私は楽しめなかったです。そういうこともあると思いますが、こういうチームもあることを理解してほしいです。
- ・ これからも合同研修は必要だと思う。とても刺激になった。
- ・ 年に一度しか経験できないのは物足りないと感じるほどやりがいのあるイベントだったと思った。
- ・ 他の学部とは話が合わないところもあって少し大変な部分もあった
- ・ ポスター作りを通してみんなが本気で医療従事者を目指していることがわかり、自分自身の夢も再確認することができ、もっと勉学に励んでいきたいと思えました。
また、胸骨圧迫講習は学生時代にもたくさん行いましたが再度理解することができたのでよかったです。

14. 教員アンケート結果

2-1. 学生にとって、卒業生・在学生の動画メッセージは、有意義だったと思いますか
25 件の回答



(2-2) (2-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：25（以下主な意見を抜粋）

そう思う

- ・ 学部ごとの空気感なども感じられて面白かったです。
- ・ 今後の生活のイメージが湧くから
- ・ 在学生と卒業生の両方からメッセージをもらうことで、短期的、中長期的なビジョンが見えると思いました
- ・ 医業看が一丸となって一つの課題に対処する機会を、学生の初めに経験することができる。その中で、やはりうまくいかない、意見がまとまらないなど、苦勞することを経験できたと言う事。
- ・ 様々な道に進んでおられるお話は、学さの未来が広がりとても良い企画だと思いました。
- ・ 卒業生・在校生の活躍は新入生にとって、刺激になると思います。また同じ世代の頑張りは励みになると思います。

ややそう思う

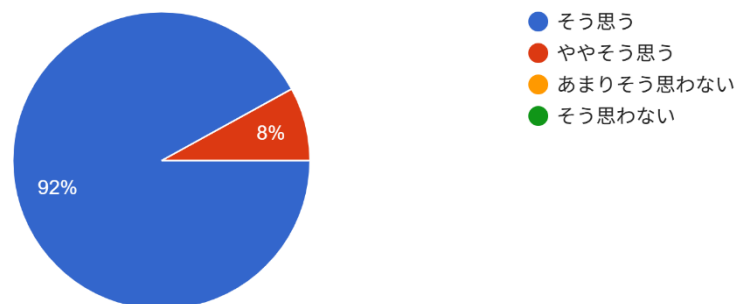
- ・ 他職種でコミュニケーションをとるとは、どういうことなのか、知るいい機会になったのではないかと思います
- ・ 反響で何を喋ってるかほとんど分からない動画があった
- ・ 卒業生だと個別的な話、在学生は抽象的な話に寄っていたため、想像しにくかったのではないかと
- ・ 医学部の学生さんの音声聞き取りにくかったのがもったいなかった。事前に確認しても良いと思いました。
- ・ 音声もう少しクリアだったら良かったと思います

あまりそう思わない

- ・あまりはっきり聞こえなかった。
- ・医学部の在学生（医科薬科になってからの入学生）が、大阪医大、大阪医大、と連呼するのは、薬学部の学生には思うところがあったと思います。看護、薬学のメッセージは良かったと思います。

3-1.学生にとって、チーム別討議は、有意義だったと思いますか

25 件の回答



（3-2）（3-1）の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数:27（以下主な意見を抜粋）

そう思う

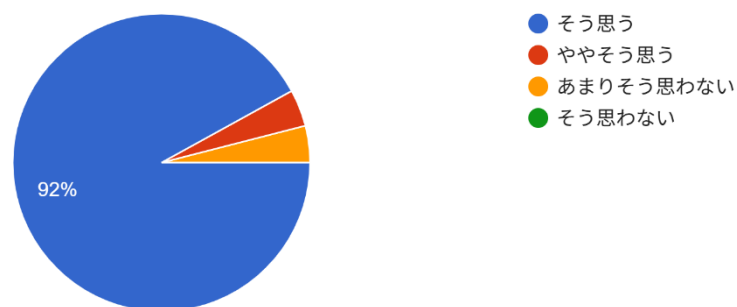
- ・他学部との学生と話す機会は貴重だと思います。
- ・チームで何かを成し遂げる数少ない機会である
- ・意見がまとまらないなど、苦勞することを経験できたと言う事。
- ・能動的に議論する場は大学生活では今後あまりない体験だと思う。それぞれの学部が独立した活動が多いので、交流になって良い。
- ・学生が学部を超えて生き生きと成果物の作成に取り組んでいたことが、とても大切な絆だと思います。
- ・3学部の学生が合同で取り組むのは有意義と思う。

ややそう思う

- ・他職種でコミュニケーションをとるとは、どういうことなのか、知るいい機会になったのではないかと思います
- ・チームメンバーによって熱量の差が出てしまいましたが、総じて楽しそうにやっていたので良かったと思います。

4-1.学生にとって、講演（救急蘇生）は有意義だったと思いますか

25 件の回答



（4-2）（4-1）の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：26（以下主な意見を抜粋）

そう思う

- ・ 医療者として、蘇生処置を学ぶいい機会になったかと思います。
- ・ 緊急性が高い事が改めて認識できた。
- ・ これから医療従事者になるにあたって初めて受ける公演だと思うので有意義だったと思う。
- ・ 医療従事者の卵として必須の事を、学生の初めに学べたこと。
- ・ 救命に関する具体例を知れたから
- ・ ポスター作成だけでなく、医療内容の勉強を取り入れたことは良かったと思います
医療人第一歩として相応しいと思います

ややそう思う

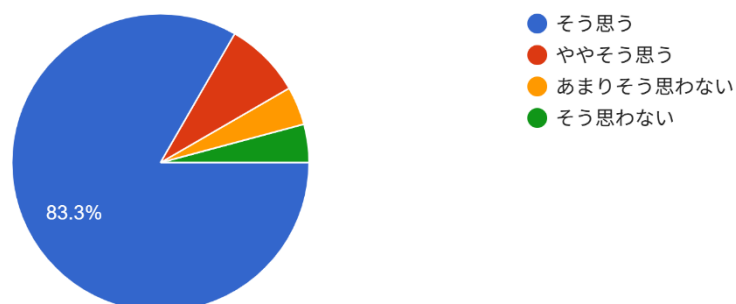
- ・ なくても、機会は今後ありそうです

あまりそう思わない

- ・ 苦手な学生(気分不良)もいたため

5-1. 学生にとって、実技（救急蘇生）は有意義だったと思いますか

24 件の回答



（5-2）（5-1）の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

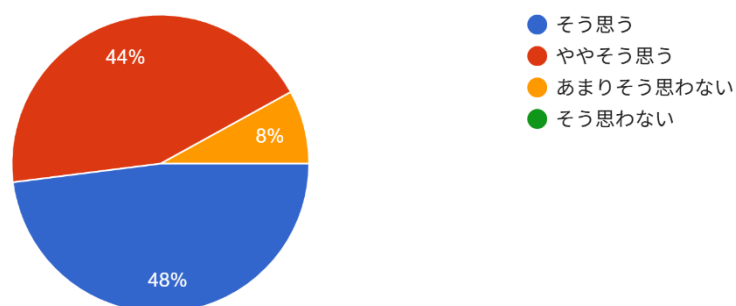
回答数：24（以下主な意見を抜粋）

そう思う

- ・ 要領がつかめた意義は大きい
- ・ デモであっても経験していることで気持ちの面が違うと思う
- ・ 医学部なら避けて通れない。
- ・ 救急蘇生の練習は定期的に何度でもやって良いと思う。
- ・ 命を守る意識に繋がったと思う。

6-1. 学生は、良き医療人となるために必要なことが理解できたと思いますか

25 件の回答



（6-2）（6-1）の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：25（以下主な意見を抜粋）

そう思う

- ・ まずは楽しく、今後の学生生活に希望を持てた子も多かったのではないのでしょうか。
- ・ 結局のところ、自身の熱意が一番大事だから。
- ・ かなり深い討議がなされていたから
- ・ コミュニケーションをして、討論して、さらにポスターを作成することで、形として残すことでより理解が深まったと思います。

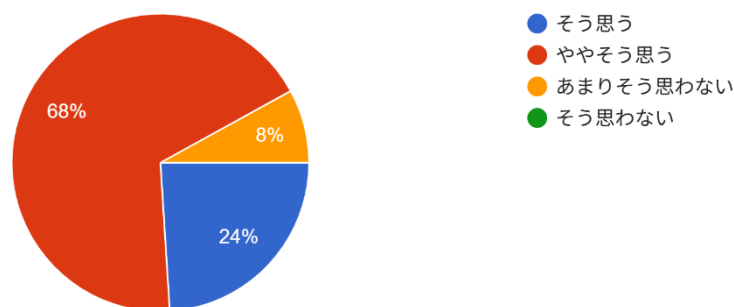
ややそう思う

- ・ 3学部の協力が重要であることがある程度認識できた。
- ・ グループから外れて寝ている学生も見られたため人それぞれだなと感じた。
- ・ やはりまだまだ実際や現場環境を知らないなので、同じ事を同じチームで3年後にやり、1年のポスターを見してあげればいいと思う。
- ・ 自分たちの考えが主になるプログラムなので足りない部分はどうしても生じる。

あまりそう思わない

- ・ もっとこういう機会が必要だと思う
- ・ 理解よりプレゼンテーションのうまさの評価されたと思う。

7-1.学生が、自分自身のキャリアデザインを考えるうえで、今回の研修が役に立ったと思いますか
25件の回答



(7-2) (7-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：25（以下主な意見を抜粋）

そう思う

- ・ 今回の合同研修が良い機会だったと思います
- ・ 卒業生などのメッセージもあり、考えるきっかけになったと思います。
- ・ 今後の頑張りを期待

ややそう思う

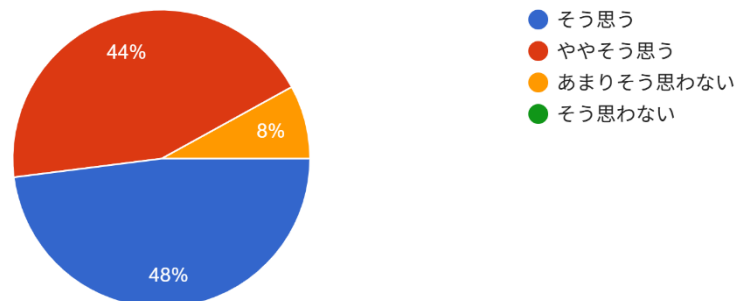
- ・ 学生が協力して一つのことを行うことの重要性を認識できた。
- ・ まだ専門性を学んでいないので、方向性は示されたけど、キャリアまではわからない
- ・ キャリアデザインまではまだ見通せるかはわかりませんが、今日 1 日は比較的楽しく過ごせていたように見えます。
- ・ 卒業生のメッセージはもう少しボリュームを増やしてもいい。
- ・ キャリアの多様性を提示できていないと思う。
- ・ キャリアデザインに役立ったかどうかまでは判断できない
- ・ 視野を広げることにつながっていると思う。
- ・ キャリアデザインというほど具体的な内容ではないと思う。
- ・ 友人ができた人には良かったと思う。社交的な交流が不得手な学生に対するフォローは必要。コミュニケーション力が劣る人間は医療人には不適格でしょうか。

あまりそう思わない

- ・ そこまで、踏み込んだ内容としては、印象としては弱いと思います。
- ・ キャリアデザインを考えることを主眼とした講習ではなかったと思いました

8-1.学生は、多職種連携の重要性を理解することができたと思いますか

25 件の回答



(8-2) (8-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：25（以下主な意見を抜粋）

そう思う

- ・ 学部の壁を超えてコミュニケーションを撮る機会はなかなかないのでとてもいい機会だと思いました。
- ・ テーマの「和」に関連して常に話しており、理解が深まったと思う
- ・ 学部の違いを尊重した活発なディスカッションができていたと思います。
- ・ 初めて 3 学部合同で行い、多種職として、交流もできたのではと思います。

ややそう思う

- ・ まだ実際のイメージがわからない部分がある。
- ・ 他学部の子生の考え方を知れた機会は、貴重と思います。
- ・ 具体的なイメージはついていないと思いますが、意識するきっかけになったと思います
- ・ まだ知識が足りないので、各分野の専門性を発揮、理解できていないように思う。
- ・ 今は、イメージの段階かと思いますが、これから実習等で近づけていっていただければと思います。
- ・ 連携が大切というイメージはあると思うが、どう重要か、という考えにつながっているかはわからない。

あまりそう思わない

- ・ もっとこういう機会が必要
- ・ 理解よりプレゼンテーションのうまさの評価された、と認識したと思う。

(9) 三学部合同で行ったことについての感想や、その他運営全般を含めてご意見があればお願いします。

回答数：18（以下主な意見を抜粋）

- ・ 心配蘇生の説明でショックを受け倒れた学生がいたので、説明前に配慮をお願いします。
- ・ 胸骨圧迫の練習のとき、机がつぶれないか、心配になりました。
- ・ 少し時間が長く、疲労がみられた学生もいたように感じた
- ・ ご準備などどうもお疲れ様でした。おかげさまでスムーズに行うことができたと思います。
- ・ チューターの数はもう少し減らしても実行可能に感じました。
- ・ チューターも手探りで参加するので、チューターの参考になるメソッドや法則なども紹介してほしい。
- ・ チューターは4班に1人でも可
- ・ 運営ありがとうございます。今年は学生の動きがスムーズだったのかもしれませんが、チューターは4班～8班で一人でも十分かと思います。"
- ・ グループが飛び地なのはやめてほしい。
- ・ ペンのインクが机に付いた後に拭き取るもの(アルコールウェットティッシュなど)が必要。ハサミやのり、サインペンを要望する声があった。"
- ・ チューターの配置ですが、横よりも縦の方が見やすいと思いました。